

# 県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画の概要

## 第 1 両病院を取り巻く現状と課題

### I 医療を取り巻く環境

医師不足への対応や診療機能の確保・充実を目指し、全国で公立病院等の統合再編が行われている。

### II 医療制度改革、医療介護総合確保の推進

2025年（平成37年）に向けて国の医療制度改革が行われており、各都道府県において地域医療構想（地域医療ビジョン）の策定、各病院において地域医療構想を踏まえた医療機能の再検討が求められている。

### III 丹波圏域の現状と課題

丹波圏域の人口は今後減少していくことが推計されているが、患者数については、高齢者人口の増加により、当面は現状と同程度で推移すると見込まれる。一方で、近年は医師不足等の影響により圏域内の入院機能、救急機能が低下し、圏域内での入院割合、救急搬送割合ともに低下しており、今後改善が求められる。

また、他圏域の医療機関による訪問診療が行われる等、丹波圏域では在宅療養支援のニーズも高いと推測されるが、他圏域と比較してニーズに十分応えられているとは言えない状況であるため、在宅療養支援体制の強化・充実が必要な状況となっている。

### IV 両病院の現状と課題

#### 1 現状

ア 県立柏原病院は、丹波圏域の中核的な病院として、がん、循環器疾患、消化器疾患、救急医療、周産期医療等の高度専門医療を、柏原赤十字病院は、市民の病院として地域に密着した、「かかりやすい」、「断わらない」医療を提供している。

イ 両病院とも、施設の老朽化・狭隘化等への対応とともに、診療機能の確保・充実、経営の健全化等が必要とされている。

#### 2 課題

##### ア 急性期から回復期までの幅広い医療の提供

(ア) 地域住民の高齢化により、将来、丹波圏域においては急性期のみでなく、回復期の患者が増加することが予測されるが、圏域内で回復期を担う病院は十分とは言えない状況にある中、現状の柏原赤十字病院の医療機能では十分な対応が困難である。

(イ) 将来の丹波圏域の人口・患者規模では、急性期患者に対応するのみでは、県立柏原病院が安定した経営を行うことや若手医師が経験すべき症例数を確保することは難しい。

(ウ) 今後の高齢化や地域のニーズに対応するため、また、病院の経営面・人材育成面の視点からも、急性期から回復期までの幅広い医療を提供する必要がある。

##### イ 地域包括ケアシステムの構築

(ア) 地域の医療ニーズに応えるとともに、今後の高齢化の進展に対応するために、これまでの医療機能の維持・充実に加え、在宅療養支援体制の充実、圏域内で完結するリハビリテーション体制の整備、生活習慣病予防などを含めた予防医療まで総合的なサービスを一体的に提供するなど、丹波市における地域包括ケアシステムの構築を図る必要が生じている。

##### ウ 救急拠点施設としての医療機能の充実

(ア) 圏域内における救急搬送件数が増加している中で、県立柏原病院の役割である3次的機能にとどまらず、両病院が輪番で参加している2次についても疾患によっては圏域外搬送が多いことから、救急拠点施設としての機能をより充実・強化する必要がある。

##### エ 地域医療にかかる人材育成環境の整備

(ア) 両病院とも、若手医師を育成するための十分な指導医が確保できておらず、教育のための施設・設備も十分とは言えない状況にある。

(イ) 大学や他施設と連携し、医療、在宅、保健等を総合的に学ぶことができる環境を整備し、地方の中核病院だからこそ経験できる魅力ある環境を提供することが求められている。

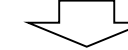
## 第 2 統合再編の基本的な考え方

### 1 課題への対応方針

#### (1) 統合再編による診療機能の再構築

これまで、県立柏原病院は丹波圏域の中核病院として急性期を中心とした医療、柏原赤十字病院は予防医療や回復期等を中心とした医療を提供してきたが、

- ・両病院が併存し、それぞれで取り組みを行っていくことは、限られた医療資源の活用という面で非効率である。
- ・両病院とも施設の老朽化・狭隘化が進んでおり、早期の建替整備が必要な状況にあるが、それぞれで建替整備を行うことは二重投資となる。



これらの状況を踏まえるとともに、今後の高齢化の進展や医療制度改革等にも的確に対応し、丹波圏域において安定的・継続的に良質な医療を提供するため、両病院を統合再編することとする。

統合再編を行うに際しては、これまで両病院が提供してきた急性期から回復期までの医療機能を維持・充実するとともに、地域包括ケア推進の拠点として必要な予防医療から在宅療養支援までを一貫して提供できる体制の構築や、地域医療にかかる人材育成に必要な機能の整備を図る。

#### (2) 両病院の統合再編により期待される効果

- ア 急性期から回復期までの地域のニーズに合った幅広い医療の提供
- イ 急性期・回復期の入院医療から在宅療養支援まで、地域医療を総合的に学ぶことができる魅力ある環境の整備
- ウ 医師の集約・増加による診療機能の回復・向上と、それに伴う患者数の増加による経営の改善
- エ 二重投資の回避による事業効率の改善



### 2 統合再編における基本理念

#### (1) 急性期から回復期までの幅広い医療の提供

丹波圏域の政策医療の拠点病院として、兵庫医科大学ささやま医療センターをはじめとする地域医療機関と十分に連携・役割分担を行いつつ、一つの病院において、急性期から回復期まで一貫した幅広い診療機能を安定的・継続的に提供する。

#### (2) 地域包括ケアシステムを支える機能の提供

保健・福祉機関と密接に連携し、丹波市における地域包括ケアシステムの中核的役割を果たす。

#### (3) 救急拠点施設としての医療の提供

圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割を果たす。

#### (4) 地域医療にかかる人材の育成

医学生、研修医、専門医を目指す若手医師等に対し、多様で魅力ある研修プログラムを提供し、地域医療を担おうとする人材育成の中核的な役割を果たす。



### 第3 新病院等の基本方針・主な機能

#### 1 基本方針

##### (1) 急性期から回復期までの幅広い医療の提供

ア 丹波圏域の中核病院として、がん、急性心筋梗塞、脳卒中などの高度専門医療を提供するとともに、機能別の病床(急性期病床、回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床、緩和ケア病床)を配置し、急性期から回復期までの幅広い医療を提供する。

イ 兵庫医科大学ささやま医療センターをはじめとする地域の医療機関との連携を図り、地域住民が安心して丹波圏域で医療を受けられるようにするための拠点としての役割を担う。

##### (2) ハイブリッド施設群による地域包括ケアの実現

ア 丹波市が新病院に隣接して整備する、診療所機能、予防医療(健診)機能、在宅療養・介護支援機能を有する保健福祉施設(以下「関連施設」という。)と新病院をハイブリッド施設群として一体的に運営し、急性期から在宅支援を含む福祉・保健分野まで、切れ目のない医療・サービスを提供することにより、丹波市の地域包括ケアシステムの中核的役割を果たす。

##### (3) 救急拠点施設としての医療の提供

ア 丹波圏域の救急拠点施設として、脳卒中や心筋梗塞等の重症救急患者に対応する。

イ ヘリポート等の整備により、救急搬送・受入体制の強化を図る。

##### (4) 地域医療にかかる人材の育成

ア 神戸大学等との連携により、地域医療を担う人材の育成拠点としてふさわしい充実した指導体制、研修環境を整備する。

イ 医学生、研修医、専門医を目指す若手医師等の多様なキャリア形成が可能となるよう、質の高い教育・研修を行う。

##### (5) 安定した経営基盤の確立

ア 地域の中核病院として、政策医療等を安定的に提供するため、適切な公的負担のもと、効率的な病院運営を行う。

#### 2 新病院等における主な機能

##### (1) 新病院の診療機能

主な疾病・事業等	新病院における主な機能・方針等	
①救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急専門医の確保</li> <li>入院手術等を必要とする重症救急患者に対応(引き続き2次救急病院群輪番制に参加)</li> </ul>	
②がん医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線療法、化学療法、緩和ケアなどを実施</li> </ul>	
③脳疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに常勤の脳神経外科医、神経内科医を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICU等集中治療室を設置</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復期リハビリテーション病床・地域包括ケア病床を設置</li> </ul>	
④心疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICU等集中治療室を設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復期リハビリテーション病床を設置</li> </ul>
⑤糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病の専門治療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予防等については、関連施設との連携を推進</li> </ul>
⑥a 小児医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域小児医療センターとして、小児の専門入院医療、重症小児救急に対応</li> </ul>	
⑥b 周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>周産期に関する高度医療(2次)に対応</li> </ul>	
⑦感染症への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二種感染症指定医療機関として、感染床病床を引き続き整備し、二類感染症、新型インフルエンザ等の感染症患者に対応</li> </ul>	
⑧血液浄化療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>透析の導入や透析患者の合併症に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師教育の視点から慢性期の維持透析を実施</li> </ul>
⑨地域医療支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療機関との更なる連携推進により、新たに地域医療支援病院の取得を目指す</li> </ul>	
⑩へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地医療拠点病院として、医師を育成するとともに、へき地診療所等へ医師を派遣</li> </ul>	

##### (2) 新病院の診療科構成(下線を付した診療科は新設診療科)

内科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、神経内科、血液内科、 <u>リウマチ科</u> 、 <u>腎臓内科</u>
外科	外科、消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科
その他	小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、 <u>麻酔科</u> 、 <u>歯科口腔外科</u> 、 <u>救急科</u> 、 <u>病理診断科</u>

※総合診療科等、開院までに国の制度変更等があれば、診療科の見直し・新設等を行う。  
 ※内科の入院診療体制は、臓器別診療体制はとらず総合内科としての診療体制により効果的・効率的な診療を行う。  
 ※血液内科、リウマチ科、腎臓内科については、開院当初は神戸大学の専門医による外来診療のみを行う。

##### (3) 地域医療に係る人材の育成機能

ア 神戸大学、兵庫医科大学等との連携により、これからの地域医療を担う人材の育成拠点として、研修医、専攻医や医学生、県養成医など幅広い層を対象に地域医療の教育・研修のフィールドを提供する。

イ 内科、外科、総合診療などの基本領域とともに、消化器内科、循環器内科、消化器外科などのサブスペシャリティ領域の専門研修施設の認定を受け、専門医を養成する。

ウ 幅広い医療を提供する病院の特徴を生かし、地域医療を担う医師や看護師等の医療従事者を育成する。

エ 兵庫医科大学ささやま医療センターをはじめとする地域の医療機関等と連携し、医療・福祉関係従事者の教育・研修を支援できる仕組みを構築し、地域全体の医療の質的向上に向けた取組みを行う。

##### (4) 関連施設の機能

丹波市において、以下の機能を持つ関連施設の整備が検討されている。

※「業務内容」の下線表示は、柏原赤十字病院が現在運営している業務

機能	現在の実施施設	新たな実施施設	業務内容
1次救急	休日応急診療所 柏原赤十字病院	休日夜間応急診療センター(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日応急診療(日曜祝日、年末年始、ゴールデンウィーク)</li> <li>平日夜間応急診療(平日20時~22時)</li> </ul>
診療所	柏原赤十字病院	総合診療センター(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>総合診療科外来(内科、小児科、外科等対応)</u></li> </ul>
予防医療(健診)			<ul style="list-style-type: none"> <li><u>一般健診</u>、<u>がん検診</u>、<u>人間ドック</u></li> </ul>
在宅療養・介護支援			<ul style="list-style-type: none"> <li><u>在宅療養支援</u></li> <li><u>訪問看護</u>、<u>訪問リハビリテーション</u></li> </ul>
発達支援	こども発達支援センター	福祉センター(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>居宅介護支援事業所</u></li> <li>地域包括支援センター(介護予防・相談等)</li> <li>通所リハビリテーション(新規)</li> <li>こども発達支援センター</li> </ul>
保健	氷上保健センター	保健センター(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康啓発(健康たんば、食育推進等)</li> <li>疾病予防(保健指導、健康栄養指導等)</li> <li>母子保健(乳幼児健診、乳児家庭訪問等)</li> <li>年金、国保(国民年金、国民健康保険等)</li> </ul>

#### 3 新病院等の運営形態

2025年(平成37年)に向けて、医療制度改革の途上にある中で、新病院は県、圏域の医療行政と一体的かつ密接な連携を図る必要があり、他の県立病院とのネットワークの利点をフルに活用するため、県による直営とする。

丹波市が設置・運営する関連施設の機能のうち、総合診療センター(仮称)については、県が受託等により新病院と一体運用する方向で丹波市と協議する。



## 第4 施設整備の概要

### 1 施設整備方針

新病院等の整備にあたっては、必要な診療機能等への対応、療養環境の向上、効率的な病院運営、魅力ある環境作り等を踏まえた施設整備計画とする。

### 2 整備場所

新病院等の診療機能等が十分提供できる施設整備、ゆとりある療養環境等に必要な面積の確保、受診のためのアクセスの利便性及び救急患者の迅速な搬送経路の確保、大規模災害のリスク、工事に係る患者への影響（診療制限等）、整備コスト、工期、周辺の利便性等の要件を踏まえて、氷上工業団地（丹波市氷上町石生）を整備用地として選定した。

なお、整備にあたっては、周辺の交通渋滞、浸水、通院アクセス等について、丹波市等と協議し、対策を講じる。



### 3 病床規模

両病院の患者の現況を踏まえたうえで、高齢化に伴う患者の動向、圏域外に流出している患者の動向等を勘案し、総病床数は320床とする。

また、急性期から回復期まで一貫した医療を提供するために必要な病床編成を行うため、現行の一般病床、緩和ケア病床、感染症病床に加え回復期リハビリテーション病床、地域包括ケア病床を新たに整備する。

病床区分	区分	現行(稼働)	新病院
一般	急性期病床	259床	199床
	回復期病床	（看護体制 7:1）	164床
		（看護体制 10:1）	95床
		回復期リハビリテーション病床	—
	地域包括ケア病床	6床	50床
	緩和ケア病床	20床	20床
感染症	感染症病床	4床	4床
	合計	289床	320床

### 4 概算事業費

項目	内容	概算事業費
1. 設計・監理費等	基本設計、実施設計、設計監理等	3億円
2. 用地費等	整備予定地の取得費・外構工事費等	16億円
3. 建設工事費	病院本体、駐車場、造成費等	95億円
4. 医療機器等整備費	医療機器・什器、情報システム等	45億円
合計		159億円

### 5 整備スケジュール

項目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
基本設計・実施設計	→				
建築工事		→			
開院・開設準備					⇒○開院

## 第5 建設整備計画（新病院の規模等）

### 1 新病院の施設規模

構造：鉄筋コンクリート造 地上6階＋塔屋

延床面積：約26,400㎡

※ 構造は現時点の想定であり、今後、詳細な設計を行うにあたり変更が生じる可能性がある。

### 2 新病院の部署配置方針（新病院のフロア配置イメージ）

塔屋	機械室		
6階	病棟		
5階	病棟		
4階	病棟		
3階	手術・中材・ME	病棟(ICU等含む)	透析
2階	リハビリ	検査	管理
1階	救急・放射線	内視鏡・外来・医事	総合相談支援・栄養

～高層階～  
～中層階～  
～低層階～

## 第6 統合再編に向けた取り組み

### 1 両病院間の連携

#### (1) 機能連携

統合再編の効果をできるだけ早期に発揮させるため、可能な分野については、統合再編前から両病院の機能の連携を進める。

#### (2) 相互職員派遣、情報共有、研修交流等の実施

統合再編までの間の丹波圏域の医療の維持、新病院等の円滑な運営に向けた準備等のため、両病院で相互に職員の派遣等を行うとともに、情報共有のための取り組み、職員の研修交流等を実施する。

#### (3) 教育研修

新病院及び関連施設における機能・役割に対応するため、また、国の制度変更等も踏まえながら、両病院で連携し、医療人材の教育・研修を進める。

### 2 開院に向けた計画や運営方法等の検討

統合再編に向け、両病院のスタッフが一体となって、基本計画に基づき、各部門の具体的な計画や運営方法、医療機器・医療情報システムの導入等について、関連施設を整備する丹波市とも連携し、検討を進める。